

2010年7月1日

私立短期大学図書館協議会 全国理事会 議事録

日時・会場：2010年5月20日（木） 14:00～17:00 於：東京ガーデンパレス

出席者：20名（敬称略）

<本部> 亜細亜大・毛利和弘、日本体育大・谷口豊、立教女学院短大・篠原智子、山野美容芸術短大・久保田智弘、国際学院埼玉短大・靄島千枝子、文化女子大・小野恵子、以上6名

<地区>

北海道：北海道武蔵女子短大・要春光・玉田清市

東北：青森大・菅勝彦・下山修司、

関東・甲信越：文教大湘南・小室啓子、青山学院女子短大・小林陽子、

東海・北陸：名古屋経済大・加藤裕子（代理）・伏見洋子、

近畿：大阪芸大・福井康雄・柴田太一、

中国・四国：香川短大・木谷紀恵・小野加代子、

九州：沖縄女子短大・上運天洋子・洲鎌智江子、以上、14名

司会・進行：日本体育大・谷口豊（本部事務局）

配布資料：①議事次第・役員名簿ほか、②各地区報告書、③全国総会資料、④北海道地区協議会通信No. 32

内容

1. 開会のことば（日本体育大・谷口豊氏）
2. 会長あいさつ（亜細亜大・毛利和弘氏）
3. 出席者自己紹介：役員名簿順に出席者20名が自己紹介。
4. 各地区事業報告：
 - (1) 北海道から九州の順で、昨年度地区事業の状況、本年度の会勢と事業計画案が報告された。
 - (2) 今年度全国研修担当の東北地区より、予算が苦しいため、全国研修会を地区研修会を兼ねた開催とするとの報告があった。
 - (3) 近畿地区より、役員の役割及び輪番制の見直しが必要な状況にあるとの報告があった。
5. 総会について
 - (1) 総会議長については、東北地区の菅勝彦氏にお願いした。
 - (2) 会長改選については、毛利和弘氏の再選を推薦した。
 - (3) 全国総会資料にそって、事業報告、決算・監査報告、新役員、事業計画案、予算案を確認した。
 - (4) 外部倉庫保管資料について（本部事務局・谷口氏および本部会計・久保田氏）

- ・貸倉庫預け分を回収し、在庫整理をして貸倉庫への再入庫を取り止めたため、今後、資料管理費は発生しない、との報告があった。

(5) ホームページ・メーリングリスト管理について（本部事務局・谷口氏）

- ・2年前に立ち上げた時点ではメンテナンスのことが考慮されていなかったため、はじめての改修場面に立ち会い、改訂方法を用意するのに手こずった。とりわけML用アドレスの日常的な管理方法を用意することに苦労した。
- ・各種ML用の加盟館の登録アドレスと会員一覧用のURLについて、地区理事館を通じて一斉に調査した。地区MLも7地区個別に用意するなど、環境整備を完了させる。今後のメンテナンス方法についてのマニュアルを後日提供する。
- ・役員専用ページを会員専用ページとする設計変更をし、加盟館がアクセスできる場所とした。
- ・そこに地区名簿を置き、項目は地区の裁量にまかせ、PDFで掲載することにした。

(6) 協議会業務の地区分担と今後の協議会体制について

- ・組織継続のための基盤強化策として、当初の体制のように、地区活動を離れて別に本部役員として活動してもらえる図書館学系教員を発掘していく必要性を感じている。（会長・毛利氏）
- ・業務分担順一覧（参考資料）に関連し、教員を巻き込んでいくことで、地区が持ち回り分担している業務を本部に戻していくことができないか検討していきたい。（事務局・谷口氏）

(7) 会費納入について（会長・毛利氏）

- ・紀伊國屋書店からの研究誌売上金が年度初めから年度末入金に変更になったこともあり、年度初めの資金の回転が悪い。各地区で徴収した会費を本部会計に納入する最終期限は9月末となっているが、7月上旬に第一回目を振り込んでもらえないか、とお願いがあった。
- ・これを受けて、「地区での回収メ切を6月末、本部会計への入金を7月初旬」と納入時期を変更し、次年度からは、本部会計が4月初旬には地区理事宛にメールで依頼する、とした。

6. その他

- (1) 全国研修会予算について：東北地区・菅氏より、本部会計からの助成予算110万円が前回より少ないこと、参加者予想70人で予算を立てたが、不確定な部分が多いため、参加費値上げとするか、最終的に赤字が出た場合のことを含んでほしい、との報告があった。この報告を受けて、次の二点を確認した。①協議会MLで参加人数について事前調査を行い、その結果で会費の設定を変えることも考慮する。②万が一赤字が出た場合には、本部会計の予備費から補填することも考慮する。
- (2) 『短期大学図書館研究』の原稿募集について：会長・毛利氏より、自動的に原稿があがるように、研修会講師や事例発表講師に論稿化を依頼するよう、各地区理事に協力の要請があった。
- (3) 研究誌の賛助会員募集の分担について：事務局・谷口氏より、席上の地区理事からの提案を受ける形で、「研究誌担当地区と（合同幹事会としての）本部とで担当しているが、今後は研究誌担当でない地区も、地区の賛助会員募集に協力を願って、予算獲得の一環とする体制で臨みたい」との呼びかけがあった。

以上